

## (6) 柏の葉キャンパスシティ

### 1. 地区の概要

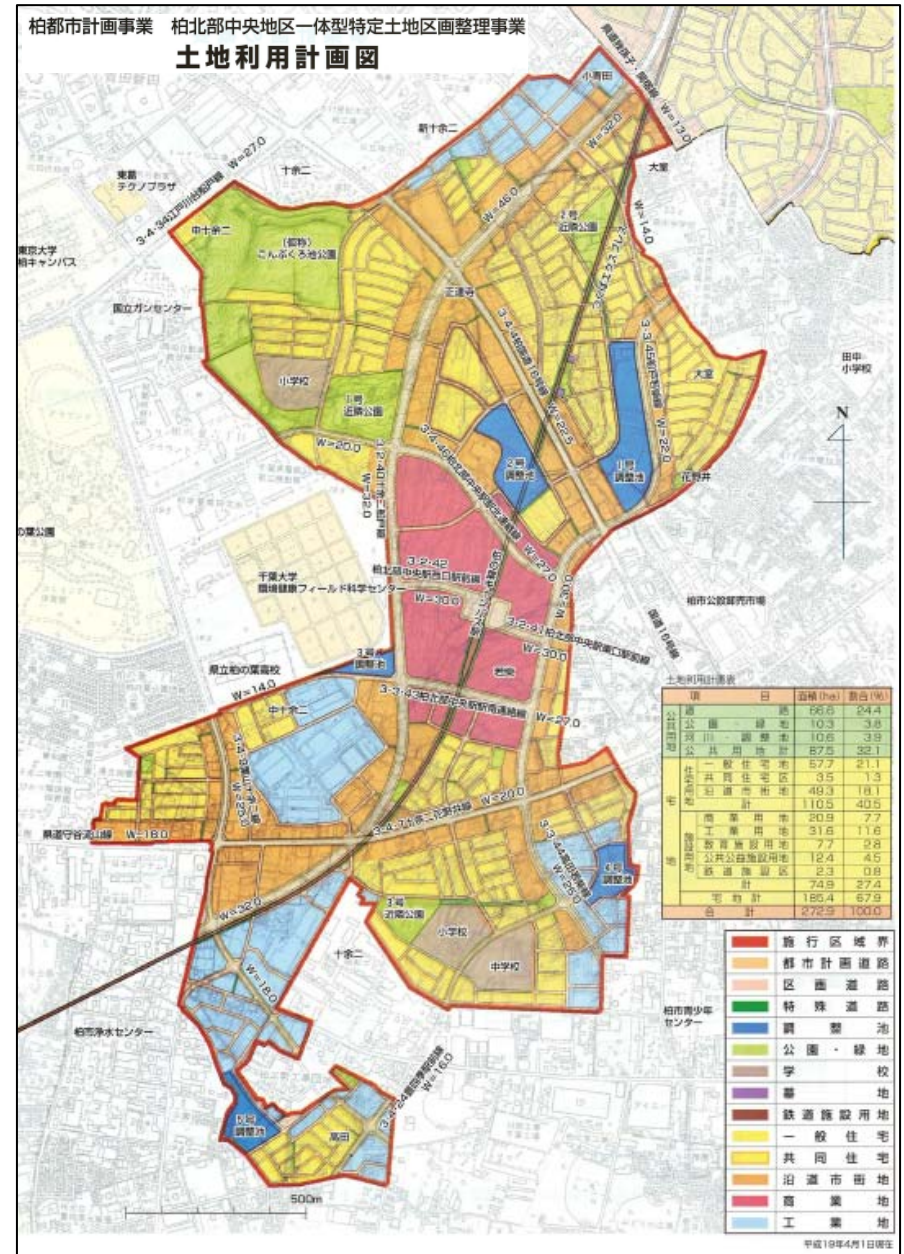
- 千葉県が土地区画整理事業を行っている地区で、駅前にはセンターの顔となる商業施設や病院、高層マンションが建設されている。面積 273ha、計画人口 26,000 人
- 隣接する柏の葉地区(柏通信基地跡地)には、県立柏の葉公園、東京大学柏キャンパス、千葉大学環境健康フィールド科学センター、東葛テクノプラザなど、国・県の各種機関や施設が集積している。
- 地形は概ね平坦で、地区の中央部の大部分が柏ゴルフ場跡地であり、地区の北側には、貴重な湧水機能を持つ「こんぶくろ池」とその周辺の樹林帯などの豊かな自然環境も有している。

事業の名称 柏都市計画事業柏北部中央地区一体型特定土地区画整理事業

施行者 千葉県

施行面積 約 272.9 ヘクタール

施行期間 平成 12 年 8 月 25 日から平成 35 年 3 月 31 日



## 2. 駅周辺まちづくりコンセプト

○本地区は、「緑園都市構想」（柏市）と「柏の葉国際キャンパスタウン構想」（千葉県・柏市・東京大学・千葉大学）の上位計画と整合を図りながら、『人と環境にやさしいまちづくり』を目標に、土地区画整理事業が進められている。

○柏の葉キャンパス駅を中心に柏市景観まちづくり条例による景観重点地区の指定や、147・148 街区では土地の処分に際してアーバンデザイン方針を示すなど、魅力あるまちづくりの推進に取り組んでいる。

### ■緑園都市構想

「緑園都市」は、つくばエクスプレス沿線の新しい市街地整備地区を中心として、都市の活力と環境が調和した職住近接のまちづくりをめざし、自立性の高い「柏市」を創るため、都市の開発と自然環境を活用したまちづくりを進めることを目的としている。

#### ○基本理念

「都市の活力と環境の調和をめざすまち」

- ・ふるさとの緑と文化を大切にしたまちづくり
- ・いきいきと住み、働き、学び、遊ぶまちづくり
- ・人と環境に優しいまちづくり

緑園都市の整備にあたっては、既成市街地の集積やこれまで地域で培われてきた郷土の歴史や生活文化との調和・連携を図る。また、既存の緑地資源や水辺空間を生かした空間整備を図るとともに、活力と魅力を備えた東京圏の中核都市としての成長を期して、業務機能、居住・生活関連機能、産業、芸術・文化、レクリエーション機能等からなる多機能自立型の都市整備を進めていく。



### ■柏の葉国際キャンパスタウン構想（公民学連携によるまちづくり）

平成 20 年 3 月に柏市、千葉県、千葉大学及び東京大学の 4 者の共同研究により、公民学連携による国際学術研究都市・次世代環境都市＝柏の葉国際キャンパスタウンを理念とした構想計画を策定。

「柏の葉国際キャンパスタウン」とは、公・民・学が連携し、キャンパスとまちが融和した創造的環境の中で、最先端の知・産業・文化が育まれる「国際学術研究都市」、優れた自然環境と共生し、健康で高質の居住・就業環境が実現される持続性の高い「次世代環境都市」

○環境・産業・国際・交通等に関する 8 つの目標を設定。

○東京大学、千葉大学、柏市、県が連携し、民間企業、市民・NPO 等とともに取り組みを進めている。

○「公民学の連携」によるまちづくりを進めていくための場所として、2006 年 11 月に UDCK（アーバンデザインセンター）を設置。東京大学、千葉大学、柏市、三井不動産、柏商工 会議所、田中地域ふるさと協議会、首都圏新都市鉄道の 7 つの「構成団体」により、共同で運営。





### 3. キャンパスタウン構想による主な取り組み

#### ■UDCK

「公民学の連携」の場として、柏の葉キャンパス駅西口前に開設。UDCKは、東京大学、千葉大学、柏市、三井不動産、柏商工会議所、田中地域ふるさと協議会、首都圏新都市鉄道の7つの「構成団体」により、共同で運営されている。これに、関係公共団体や各種専門企業を「協力団体」として加え、フラットかつ柔軟な連携により、様々な取り組みを行っている。

#### ■環境コンビニステーション

農園事務局や様々なまちづくり情報の発信を担うまちづくり活動や農園活動、交流の拠点として建設



#### ■柏ITS（柏ITS協議会）

ITS (Intelligent Transport Systems 高速道路交通システム) とは、渋滞・事故・大気汚染・高齢者利用など、道路交通が抱える様々な問題を、最先端の情報通信や制御の技術によって解決する、安全・快適で環境に優しい交通システムのことを指す。柏市が2009年6月にITS実証実験モデル都市に選定されたことを受け、2010年2月に「柏ITS推進協議会」が設立。UDCKも会員として、ベロタクシーやセグウェイ、スマートサイクル（コミュニティサイクル）など新しい移動交通の実証実験を行っている。

#### ■かしわスマートサイクル

共同自転車と街のポイントプログラムとを連携させることにより、地球の環境、人の健康、地域の活性化を目指す実証実験を行っている。



#### ■柏の葉街エコ推進協議会

「楽しくエコ」「つくる・つかう・つづける」を合言葉に市民・企業がそれぞれ身の丈でエコ活動に取り組む。「地球の健康・地域の健康・心身の健康」を考え、それぞれの身近なエコ活動を地域ぐるみのエコ活動につなげ、この活動を通じて、エコをテーマとする地域のつながり深化を目指している。

#### 4. 柏の葉キャンパスシティにおける主な新規展開

柏市、千葉県、東京大学、千葉大学、三井不動産株式会社は、柏の葉キャンパスシティの街づくりを通じて世界に社会的課題の解決モデルを提示していくために、エネルギー・地球環境問題対策、超高齢社会対策、日本経済再生という3つの重点テーマを掲げ、「スマートシティ」「健康長寿都市」「新産業創造都市」を実現させるための事業展開を進めている。

日本経済団体連合会「未来都市モデルプロジェクト」に選定されており「公・民・学の連携」によって市民参加型の社会実験を繰り返しながら、最先端の技術・サービス・システムを街に実装していく、次世代都市のモデルづくりを進めている。

##### 【スマートシティ】

- 複合開発計画が本格化する柏の葉キャンパス駅前148街区で、都市の未利用エネルギーを徹底活用し、エネルギーの複線化を実現（2014年春の竣工予定）
- 地域全体の発電量・受電量・消費電量を一元管理する「エリア・エネルギー管理システム（AEMS）」を新たに構築

##### 【健康長寿都市】

- 高齢社会問題の課題解決を目指して学際的活動を行っている東京大学高齢社会総合研究機構のジェロントロジー研究拠点が東京大学柏キャンパスに誕生

##### 【新産業創造都市】

- 新たな事業・研究領域の開拓に向け、公民法連携で社会実験を進める中心拠点「東京大学フューチャーセンター」が2013年度、柏の葉キャンパス駅前148街区に誕生
- 農林水産省「モデルハウス型植物工場 実証・展示・研修事業」の千葉大学拠点として、国内最大規模となる植物工場を環境健康フィールド科学センター内に開設、2011年9月より本格運用を開始



東京大学柏キャンパスのジェロントロジー研究拠点（第2総合研究棟）



植物工場千葉大学拠点

出典等：千葉県「柏都市計画事業柏通信所跡地土地区画整理事業完成記念誌」（H2.11）、千葉県HP、柏市HP、財務省HP大口返還財産の内訳等より作成。